

# Anti human RXR $\gamma$ mouse monoclonal antibody

RXR $\gamma$ : Retinoid X Receptor  $\gamma$

製品コード PP-H3210-00

Clone No. H3210

Lot. A-1

濃度 1mg/mL

容量 100 $\mu$ L

Ig class G2a

Nomenclature NR2B3

Genebank U38480

**由来** ヒトRXR  $\gamma$  (2-137 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。

**特異性** ヒト RXR  $\gamma$  と特異的に反応する。ヒトRXR  $\alpha$ ,  $\beta$  には反応しない。その他の動物種との交差反応は未検討。

**精製法** 硫酸塩析法

**溶媒** 生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN<sub>3</sub>添加)

**Application** 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

**Western Blot** 可  
参考使用濃度 1  $\mu$ g/mL

**非還元 Western Blot** 可  
参考使用濃度 3  $\mu$ g/mL

**ELISA** 可  
参考使用濃度 0.3  $\mu$ g/mL

**免疫沈降** 可  
参考使用濃度 適宜調製してください

**Supershift Assay** 未検討  
参考使用濃度 -

**クロマチン免疫沈降** 未検討  
参考使用濃度 -

**免疫染色** 未検討  
参考使用濃度 -

**保存方法** 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8 $^{\circ}$ Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20 $^{\circ}$ C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

**参考文献**

**備考** 溶媒に含まれるNaN<sub>3</sub>は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Aug 28, 2006

**【販売元】**

フナコシ株式会社  
〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9-7  
TEL : 03(5684)1620 FAX : 03(5684)1775  
<http://www.funakoshi.co.jp>

**【製造】**

株式会社 ペルセウスプロテオミクス  
〒153-0041 東京都目黒区駒場4-7-6  
<http://www.ppmx.com>

